

平成20年度事業計画案について

近年、人々の価値観が経済優先から個人の生活や心の豊かさ・癒しへと移ってきている中で、観光による地域活性化への期待が大変高まってきています。

観光は、今や名所旧跡・景勝地などの特定のエリアだけの問題ではなく、地域に暮らす人々やその生活など地域全体の魅力が大きな鍵となる時代となっています。

また、観光旅行の形態も団体旅行中心から個人旅行主導へ移りつつあるなど、観光の形も大きく変化してきている中であって、長野県観光は、国内外の観光地間競争が激化する中、観光客の減少に歯止めが掛からず、大変厳しい状況に置かれています。

こうした長野県観光の危機的状況を踏まえ、「観光立県長野」の再興に向け、昨年4月に観光部が立ち上がり、県挙げて観光施策を戦略的に推進する新たな推進体制が確立され、更に、本年2月には県の観光施策を計画的かつ戦略的に推進するため、観光施策の5ヶ年計画である「観光立県長野」再興計画が策定されたところです。

この計画の推進に当たっては、各団体の役割分担が明確化されましたが、県観光協会では、県、市町村、観光事業者などの会員の皆様方との広範な連携のもとに、旅行商品造成・販売など、営利に結びつく誘客宣伝活動の中心的役割を担うとともに、民間感覚を生かした柔軟でスピーディーな事業施策を展開し、新しい観光の創造に向け、次の分野などの事業に積極的に取り組んでまいります。

観光協会の重要な柱である旅行商品の造成、販売等については、県、市町村等が売り込みたい観光資源やコンテンツ開発で考案された広域的な商品をアピールするための商談会を開催し、新たな旅行商品の造成を行うとともに、体制面では商品企画部長を外部から招聘し、販売促進の強化を図ってまいります。

外国人観光客の誘致については、ビジット・ジャパン・キャンペーンのように国を挙げての取組みとなっている中で、本県に誘客が期待出来る台湾・韓国・中国、香港、オーストラリアに加え、シンガポールやタイなどの新たな国際観光市場の開拓を推進し、外国人観光客誘致のプロモーションを実施してまいります。

本県の冬の重要な基幹産業であるスキー産業の活性化については、スキー人口の減少に歯止めをかけるため、今までのスキー場誘客対策の他、スキー場を持つ市町村や索道事業者等と協働し、新たな誘客への取組みに対する支援を通して、新たな冬の信州の楽しみ方をトータルで提案するとともに、若年層への訴求を目的に好評を得ている会員制クラブ（スノーキッズ倶楽部）の体制を更に充実させるなど、冬の信州への誘客を図ってまいります。

この他、「信州道楽」誘客促進事業では、信州キャンペーンの「環境と健康」というテーマを継承し、「もう1か所」「もう1泊」という新たな旅の魅力を創造・発信するとともに、高速道路会社とタイアップしたETC周遊パス事業などを通して、県内への誘客促進と地域活性化を推進してまいります。

I 観光振興事業

1 「信州道楽」誘客促進事業

信州キャンペーンに引き続き「信州道楽」というテーマを継承し、新たな旅の魅力を創造・発信するため、日本観光協会主催の「旅フェア2008」へ出展する他、高速道路会社とタイアップした「ETC周遊パス」事業の実施、またエージェントやメディアを県内に招請してPRに努めるなどし、誘客を図ってまいります。

2 信州「食」の魅力向上事業

県内各地で取り組まれている地域の旬の食材を活用するなど、地産地消を推進し、訪れたお客様に注目される、地域色豊かで多彩な信州の食文化の魅力を、誘客につなげるために、「食」をテーマにした旅行商品造成やプロデュースへの支援、メディアへの情報を発信し、誘客を図ってまいります。

3 スノーリゾート信州構築事業

県内スキー場の入り込み客数の減少が続く中で、信州の冬の最大の魅力となるスキー振興に加え、新たな冬の信州の楽しみ方をトータルで提案するため、スキー関係事業者、行政関係者等と協働し、「スノーリゾート研修会」開催、スノーリゾート信州宣言!!、スノーリゾート信州誘客事業、スキー場の今後の展開についての研究会等を実施し、冬の信州への誘客を図るとともに地域産業の活性化に貢献してまいります。

4 外国人旅行者戦略的誘致推進事業

諸外国・地域の特性に応じた戦略的な誘客活動を展開し、本県を訪れる外国人旅行者の増加を図る。主な対象国・地域として、台湾、韓国、中国、香港及び豪州に加え、シンガポールなど東南アジア諸国を今後発展が期待できる市場として、ビジット・ジャパン・キャンペーン(V J C)地方連携事業を活用しながら、教育旅行、スキー客誘致など国・地域の特性に応じた海外プロモーションの実施やエージェント・マスコミ招請等により、本県を訪れる外国人観光客の誘客活動を展開してまいります。

5 旅行商品造成事業

県、市町村等が売り込みたい観光資源や、コンテンツ会議で考案した観光ルートをアピールするための商談会を開催することにより、旅行エージェントを結びつけ、新たな旅行商品の造成を行なう。エージェントと協働することにより、ターゲットを絞った旅行商品の造成や、従来旅行商品として販売しづらい観光資源のうち、将来性のあるものを助成することにより、多くの魅力あふれる旅行商品を造成し、誘客を図ってまいります。

6 観光案内事業

信州観光情報センターにおいて、窓口・電話・メール等による観光案内、長野県及び会員との連携によるパンフレット配布や発送サービス、ポスター掲出、さらには観光PR用の写真や映像の貸出等を行ないます。

旅行形態や旅行者の求める価値観が多様化してきている中で様々な角度からのご案内が必要になっていることから、収集した情報と実践で養った知識を活かし、お客様のニーズにお応えして、長野県への誘客につなげてまいります。

7 観光物産展開催事業

誘客の見込める都市圏において観光・物産展を開催し、「誰もが訪れたい、何度でも訪れたい、憧れの信州」を直接消費者へPRします。信州への誘客を進めるとともに、地域の特産品・食材を紹介し、相乗効果を図ってまいります。

8 観光情報ホームページ維持管理事業

長野県からの受託によりまして、長野県公式観光ウェブサイトさわやか信州旅.n e t 及び観光情報データベースの管理運営を行います。平成19年度のトップページアクセス件数も100万件を越え、長野県観光のポータルサイトとして、全国の皆様にご利用いただいております。さらに平成19年度に実施した全面改訂によりまして、コンテンツが充実し、見やすく使いやすいサイトとなりましたので、アクセス件数の増加が期待できます。

情報収集をはじめ運営におきましては、会員の皆様のご協力によるところが大きく、収集した情報に基づきまして、季節情報、イベント情報など最新の観光情報の掲載と観光情報データベース約1万3千件の更新を行い、さらには、当協会職員が現地取材を行い記事を書くブログやメールマガジンの発行などによりまして、最新情報を全国に向けて積極的に発信してまいります。

また、同サイト及び観光情報データベースを活かし、県からの受託事業の枠を超えて、有料バナー広告、宿泊施設情報発信、飲食店・土産店情報発信、観光情報データの外部提供等を行い、本事業の運営強化を図ってまいります。

9 県外観光情報センター運営事業

大都市圏への一極集中が進む中で、巨大マーケットである東京、名古屋、大阪にある県外観光情報センターは、情報提供並びに営業活動の拠点として重要な存在であります。そこで、長野県への一層の誘客拡大を図るため、長野県からの受託によりまして県外観光情報センターの運営を行い、会員の皆様と連携して、一般のお客様への情報提供並びに旅行エージェントやマスメディア等への営業活動及び情報提供を積極的に行なってまいります。

10 学習旅行誘致推進事業

信州の恵まれた環境を生かし、「本物の体験を通じた感動」「人々とのふれあい」等、心に残る学習旅行を県内外及び海外の児童生徒の皆様にご提供するため、各会員施設と協力し、積極的に誘致宣伝活動及び資質向上に努めてまいります。

また、平成20年度から始まる、国の「子ども農山漁村交流プロジェクト」事業の推進に協力し、小学校の誘致を積極的に行なってまいります。